

生徒会発足

～より良い学校生活が送れる環境を～

令和元年12月から新しい生徒会総務委員会がスタートしました。これまで先輩方が築いてきた歴史をしっかりとつなぎ、新しい九州産業高校を作り上げてもらいたいです。

皆さんこんにちは。今回、生徒会長に就任いたしました、本田 尚大です。私はこれから1年間、全校生徒の皆さんと共に、より良い学校生活が送れる環境をつくるべく、会長としての責務に励んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。

生徒会長 本田 尚大(春日東中)

新生徒会

(上段左から)

書記 御園生 愛海(筑山中)

書記 小田 明美(太宰府中)

文化部長 大番 島(福岡教育大学附属福岡中)

総務 金子 翔湧(北野中)

(下段左から)

体育部長 松本 竜太郎(三宅中)

副会長 小串 深亜(花畑中)

生徒会長 本田 尚大(春日東中)

副会長 天本 蛸七(春日野中)

交通講話 かめライダー氏来校

昨年12月9日(月)に交通講話が実施されました。講師として、南福岡自動車学校よりかめライダー氏をお招きし、自転車を使用する際のルールやその危険性について講話をしていただきました。

本校には自転車で登下校する生徒が多いため、「夜間は日中以上に事故の危険性が高まる」ということも写真等を使い、ユーモアを交えながらわかりやすく説明していただきました。また、講話後の13日(金)には、かめライダー氏に登校指導をしていただきました。

講話の中で強調されていたのは「ルールを守る」ことが「自分の人生を守る」ことでもあり、「他人の人生を守る」ことでもあるという言葉で、生徒たちも、交通ルールを守ることの重要性について再認識したのではないのでしょうか。

献血実施

昨年12月16日(月)、17日(火)、福岡県赤十字血液センターに来校していただき、献血が実施されました。現在、少子高齢化の影響により、10～30代の献血協力者は、10年で35%も減少しています。そんな中、本校では毎年希望者を対象に校内で献血を実施しており、今年は179名の生徒が参加しました。多くの生徒にとって初めての献血ということで、緊張しながらも、社会貢献にもつながる経験ができました。

保護者会
会務報告

平成31年4月から
令和元年11月まで

○福岡県私立中学校高等学校保護者会連合会 福岡支部 会長役員会
【開催日時】令和元年5月21日(火)午後6時 【場所】アークホテルロイヤル福岡天神
古田前会長がご多忙の中、出席されました。

○福岡県私立中学校高等学校保護者会連合会 福岡支部 通常総会
【開催日時】令和元年6月5日(水)午後5時 【場所】アークホテルロイヤル福岡天神
古田前会長がご多忙の中、出席されました。

○福岡県私立中学校高等学校保護者会連合会 総会
【開催日時】令和元年6月12日(水)午後1時30分 【場所】福岡ガーデンパレス
青木会長、神屋副会長がご多忙の中、出席されました。

○福岡県私立中学校高等学校保護者会連合会 会長・役員研修会
【開催日時】令和元年9月28日(土)午後1時 【場所】北九州市立いのちのたび博物館・アクティブリゾーツ福岡八幡
青木会長、大森副会長がご多忙の中、出席されました。

○福岡県私立中学校高等学校保護者会連合会 福岡支部会長・役員研修会
【開催日時】令和元年11月27日(水)午後4時 【場所】アークホテルロイヤル福岡天神
青木会長、神屋副会長、大森副会長がご多忙の中、出席されました。

署名請願活動について(お礼)
昨年7月、私学助成の充実強化と保護者負担軽減等を目的として、会員の皆様に署名請願活動のご協力をお願いしましたところ、15,158名の方々の温かいご支援を賜りました。衷心から厚くお礼申し上げます。

寄付講座

昨年12月12日(木)、第1学年を対象として寄付講座が各教室で実施されました。寄付講座では、本校を支援して頂いている方々や本校の卒業生をお招きして、進学・就職することの意義などに加え、「社会で求められているのはどのような人材なのか」、「高校生という『今』をどう生きていくのがよいか」などについて生徒に語っていただきました。

生徒たちには、講座で得たものを、学校生活や人生の中で活かして、自分の目標に向かって頑張ってもらいたいと思ひます。

オープンスクール・令和2年度入試

昨年の9～11月にかけて、本校のオープンスクールが実施されました。本年度も多くの中学生及び保護者の方々にお越しいただきました。普通科では、本校職員による入試対策と模擬授業を実施し、機械科では本校の機械科の生徒が普段行っている実習体験を実施しました。中学生の皆さんが過去問や授業プリントにメモをとり、真剣なまなざしで取り組む姿が印象的でした。本校での高校生生活がどのようなものになるのか、短い時間でしたが、体感して頂けたのではないのでしょうか。

また、今年の1月21日(火)には本校の専願入試が、1月31日(金)には前期入試が実施されました。専願入試は3教科、前期入試では5教科の試験となり、多くの受験生が緊張の面持ちで受験に臨んでいました。

4月より新たに本校の一員となる新1年生にも、ぜひ、先輩同様に充実した高校生活を送ってもらいたいです。

KYUSAN TIMES

九州産業大学付属
九産高通信 ~MESSAGE~

110

2020.3.1 第110号
発行:九州産業高校広報 / 新聞部

1年生 入学式

2年生 修学旅行

3年生 体育祭

3年生 体育祭

3年生 クラスマッチ

3年生 紫祭

3年生 授業

3年生 遠足

第57回卒業式

～卒業生3年間の歩み～

3月2日(月)、第57回卒業式が行われ、本校3年生が思い出の学び舎を巣立っていきます。3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。平成29年の4月に入学してからの3年間、普段の学生生活だけでなく、学校行事、部活動を通して多くのことを学んできたことでしょう。

これからは一人ひとりが新しい道を行んでいくことになります。これまでの3年間とは異なった生活が待っていることでしょう。その中には、困難なことも多くあると思ひます。しかしそのような時にこそ、友人と支え合いながら、3年という月日の中で積み重ねてきた思い出を胸に、それぞれの道を邁進していきもらいたいと思ひます。

東風吹かば

校長組坂 法人

令和初の元旦を光り輝く旭日の下に迎えた。冬らしい、真っ白い霜が迎り一面を覆った風景に思わず手を合わせ、この一年の「和」を祈る。そんな正月一日の朝であった。

昨年は、「ワールドカップラグビー大会」に沸いた年であり、海外からの来日選手も応援者も、私たちとともに「ワンチーム」となり楽しく心温まる時を過ごし、数多くの感動を得ることができた。そして、幅広く世界的交流も図られたことだと思う。とりわけ、台風19号の影響で試合が中止となった東北の被災地では外国人選手によるボランティア活動が行われ、その復旧支援の様子が報じられた。今でも目頭が熱くなったのを忘れることができない。ラグビーという競技の有する崇高な精神である、「ワンフォーオールオールフォーワン」の真髄をフィールド外でも目にした思ひである。

その一方で、国の恥取りには疑問を抱くことも多かったように思える。いよいよ本年開催される東京オリンピックパリ・ピック。そのメイン競技ともいえるマラソンが東京から札幌に移行しての実施となった。近年の異常気象による選手への配慮の、この点だが、その決定や如何にといった感が拭えない。また、大学入試の在り方である。これまで幾度も検討されてきたにもかかわらず、その中心に据えられた二本の柱が、いずれも白紙に戻された。高校現場としては、誠に困惑の体にて受け止めざるを得ない。SDGsの4番目の項目に位置づけられている「質の高い教育をみんなに」というテーマにも繋がる公正で公平な入試制度を是非とも構築してもらいたいものだ。

令和初の卒業生諸君、東京2020五輪開催でこの一年は大いに賑やかな年になるであろう。ともに各国選手諸君の健闘を祈りながら、豊かな国際交流がなされ、世界平和の絆が深まることを期待しよう。そして、国の未来にしっかりと目を向け、確かなアンテナを張って時流をキャッチし、力強く新たな時代を歩んで欲しいと心から願っている。卒業おめでとう。



部活動 報告

和太鼓部

県大会 3位入賞!

本校和太鼓部は昨年12月1日(日)にそびあしんぐうで行われた第34回福岡県高等学校総合文化祭郷土芸能部門(和太鼓)に出場し、全体で第3位となる優良賞を獲得しました。「1位を目指し練習を重ねてきた。本番は3位という悔しい結果になったが、メンバー全員楽しく叩けた」と部長の2人(平井 孝宗(筑山中)・小薄 美優(板付中))は語ってくれました。



和太鼓部はオープンスクールや紫祭などの学校行事や小学校での演奏などのボランティア活動も精力的に行っています。大会の悔しさを糧に、今後どのような演奏を私たちに届けてくれるのかを期待しましょう。

弓道部

新人大会 男子団体で優勝!

私たち弓道部は、昨年の11月に大分県の大洲総合運動公園で開催された、福岡県高校弓道新人大会に参加しました。そして、男子の部団体戦で優勝し、九州大会への出場権を得ることが出来ました。本大会は九州大会出場が決まる大会ということで、他校の出場者もレベルの高い選手が集まっていましたが、無事に県大会を突破することが出来ました。これから入部してくる後輩にとって、良い手本となれたので良かったです。次の公式戦では、九州大会を突破し、インターハイ出場を目標としているので、応援よろしくお願いします。弓道部部长 平島 卓(古賀中)



バレーボール部

県大会 準優勝!

昨年11月16日(土)に本校男子バレーボール部は「春高バレー」の出場権をかけて、第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会の決勝戦に出場しました。本校はあと一歩及ばず、準優勝という結果となりました。また、今年度の男子バレーボール部は、県大会や全九州、令和元年度新人大会など、多くの上位大会へ出場しました。結果はそれぞれ惜しいものとなりましたが、この経験が糧となり、来年度以降の活躍につながることを期待しましょう。



美術部

美術部、絵馬を奉納

私たち美術部は毎年12月にJR二日市駅に奉納する絵馬を制作しています。今年の大絵馬はネズミの七福神をモチーフにしました。制作メンバーの個性が溢れるイラスト調の作品になっているので、多くの人に目にして頂けると嬉しいです。また昨年は、黒板アート九州沖縄ブロックエリア賞を受賞しました。現在私たちは2年生5人、1年生8人の計13人で活動しています。これからも多くの人を楽しませ、感動させられるような作品を作っていきたいと思います。美術部部长 榎本 愛弓(春日西中)



放送部

放送部、九州大会出場!

本校放送部は昨年の12月13日(金)~15日(日)に都城市総合文化ホール(宮崎県都城市)で行われた第3回全九州高校総合文化祭放送文化部門(テレビ番組)へ出場しました。放送部部长の芹田 祐月さん(十文字中)と副部长の松本 睦さん(田代中)は、「初めての九州大会で他県の高校の放送部のレベルを知ることができ、とてもいい経験になりました。次は読みの部門でも上位の大会に行きたい」と語っていました。来年度開催される春の大会が、現2年生にとっては最後の大会になります。地区予選を突破し、上位大会にいくことを期待しましょう。



3年生 センター試験出陣式

1月17日(金)、視聴覚室で、センター試験を受験する3年生のセンター試験出陣式が行われました。出陣式ではこれまで授業をされてきた先生方からそれぞれ一言ずつメッセージが送られ、センター試験を控えた受験生を勇気づけました。参加した3年生の中には受験本番を目の前にし、緊張している様子の生徒もいましたが、先生方の熱いエールを聞いて、受験という大きな戦いに向かっていきました。

課題研究発表会

機械科

昨年11月25日(月)に本校機械科の3年生による課題研究発表会が実施されました。課題研究発表会では機械科の生徒が主体となり、高校生活の集大成として授業や実習で培った知識・技術を最大限に活用し、それぞれの課題を研究した成果を報告します。生徒たちはパワーポイントを用いて1年間の成果を報告し、製作した作品の実演も交えながら、発表を行いました。

今年度、最優秀賞に輝いた「ドラム缶チェア」を製作した班は、デザインから設計、そして加工といった手順を手分けして行い、一人掛けの椅子2脚、二人掛けの椅子1脚、テーブル1台を製作しました。班員の久保山 仁君(春日野中)は「バリ取りやテーブルの角にゴムをつけるなど、安心して使ってもらえるように制作しました」と作業における工夫について話してくれました。また、同じく班員の富崎 敦郎君(千代田中)は「設計図の通り完成するか不安でしたが、先生のご指導もあり、3年間で身に付けた技術を使って順調に作業を行うことができました」と課題研究を振り返っていました。

生徒たちはこの課題研究を通して、チームで作品の選定や問題解決をしながら、1つの成果、作品を作り上げる経験を得ることができました。卒業後、社会に出てからも、この経験を活かして活躍していってほしいです。



3年間の成果 ジュニアマイスター特別表彰受賞

私は入学の時からジュニアマイスターゴールド(ジュニアマイスターとは、工業高校に在学している生徒を対象に、各種の資格・検定に合格した場合に点数が与えられ、ゴールドは45点で授与され認定を受ける制度です。)を目指し、ようやく3年生の始めに目標を達成しました。しかし、私はその目標を過ぎても努力を絶やさず、続けてジュニアマイスター特別表彰にまで到達することが出来ました。

私が受賞できた理由は、より多くの難関な資格に挑戦したことにあると思います。第一種電気工事士、第三種冷凍機械責任者は試験日が近く、二つの資格取得のために同時進行で勉強したこともありました。また、就職活動の合間に勉強した一級ボイラー技士、計算技術検定一級は難しかったものの合格でき、最高の結果となりました。

この受賞を経験として、社会人としても頑張っていきたいと思います。



3年機械科 梶田 工貴(那珂川北中)

持続可能な
開発目標

SDGs

九産生が 未来を考える

昨年10月17日(木)に、SDGsのカードゲーム体験が1年生の一部のクラスを対象に行われました。SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。目標の中には、「貧困をなくそう」や「人や国の不平等をなくそう」、「働きがいも経済成長も両立しよう」など、世界が抱える様々な課題の解決が掲げられており、それらを学ぶ・考える活動が全世界で行われています。今年度より本校でも、授業の中にSDGsを取り入れています。SDGsの学習に参加した生徒たちは、カードゲームや、自分たちで解決策を考えていくグループ活動を通して、世界で起きている問題と自分たちの身近な生活が関係していることを学んでいきます。2030年まであと10年、未来のために自分たちに何ができるのか、一人ひとりが考えていく必要があります。

